

ことば たいせつ
言葉の大切さ

Irushi Chamathka
(イルシ チャマスカ)
しゅっしんち
出身地：スリランカ

皆さんに質問です。今までの人生で、一番大切だと思うのは何ですか？

「家族」「友達」「平和」などいろいろ思いつくでしょうが、「言葉」と頭に浮かんだ方がいないでしょうかね。最初は私も同じでした。

しかし、二年前に日本に来た時に日本語が全く分からなくて学校生活ですごく困っていたからこそ、「言葉の大切さ」を強く感じました。

これから、その時の経験や学びも含め、「言葉の大切さ」について、発表したいと思います。

私は令和四年三月に来日し、翌月から中学校に通いました。中学3年生の普通のクラスに入った私は、母国スリランカで体験していなかったことがたくさんあり、まごつきました。みんなとは日本語が話せなかったのも、何を言っても「はい」と「いいえ」しか答えられなく、落ち込みました。

授業内容も理解出来ず、5月の定期テストでは、社会の問題が一問も解けず名前しか書けませんでした。でも、毎日嫌がらず、学校に行きました。授業中に聞いた言葉をノートに書き、家でその言葉の意味を辞書で調べることで習得しました。また、毎週月曜日の放課後、中学校に日本語指導の先生が来て下さって、外国人のための日本語授業に参加して日本語の基礎きそを勉強しました。その先生は、いつも私の悩みや困りごとなども聞いて下さいました。優しい先生で一生いっしょう忘れません。また、「毎週土曜日には、地球っ子プロジェクト」のオンライン授業を受講し、細かな日本語の表現を楽しく学びました。こうした結果、先生方やクラスメートの話しや授業内容などがどんどん理解できるようになりました。

最初の頃は「周りが厳しい」と誤解していた私は、皆みなのおかげで、「問題は自分の日本語のレベルだ」と気付きました。そしてそれからは、さらに漢字や文法の勉強を頑張りました。何回書いても覚えられなかった漢字をカードに書いて持ち歩きました。文法は例文を作って暗記したり、実際の会話で使ったりしました。また、学校でみんなと一緒に教科書を音読するために、前の日には意味や下調べをしました。平日は4時間・休日は8時間ぐらい勉強しました。疲れ時もありましたが、「Never give up your dreams」の気持ちを持ち、将来の夢に向かって日本語の勉強を頑張りました。

その結果、全く分からなかった言葉が分かるようになりました。中学校の担任の先生をはじめ、周囲しゅういからのたくさんの暖かい応援と自身の努力が実り、希望していた高校に合格出来ました。今は日本人のクラスメートに囲まれて充実した日を送っていますし、日本語で困っていることはあまりないです。このような経験から私は「言葉」は人間にとって人生にかかわるほど大切だと感じています。ですから、科目の勉強はもちろん、部活動やスピーチ大会にチャレンジするなどして、日本語をもっともっと上達していきたいと思います。

宜しくお願いします。

私の発表はこれで終わりになります。

ご清聴ありがとうございました。